

「Kori 原子力発電所 4 号機の第 19 回予防保守における放射線安全管理慣行及び将来計画」  
Sang-Hee Park, Korea Nuclear Engineering Co., Ltd (韓国)

放射線安全管理慣行の改善は、作業員管理の改善と防護管理の改善からなる。

作業員管理の改善は、蒸気発生器二次側の水位管理によるプロセス管理慣行に依存する。

- ・湿分分離器の作業においては、水位を 70%より上に維持する。
- ・湿分分離器の作業と Lancing / FOSAR の作業は同時には行わない。

防護管理の改善は、今後の汚染防護服自動除染装置の開発に依存する。現在の洗濯システムは、洗剤を用いない清浄水を使用しており、液体放射性廃棄物の増加など幾つかの問題を抱えている。自動除染装置の採用から期待される効果は、次の通りである。

- ・放射性廃棄物の低減
- ・再洗浄・再乾燥回数の低減
- ・微細粒子ダスト濃度の増加問題の解決
- ・汚染防護服の体系的な管理



自動除染装置